

僕が小学生の頃、パソコン雑誌に全国のプログラミングマニアたちが作ったゲームの「ソースコード」が載っていました。ソースコードは、コンピュータを動かす指示や手順を示したものです。プログラミング初心者頃の僕は、そのソースコードを必死に入力しエラーが発生することなくゲームが動くことがとてもうれしかったのです。他者が書いたコードを、実際に手を動かし入力し、正しく動くまで入力ミスを訂正することの繰り返しで、プログラミングの能力が向上したと思います。最近、プログラミング学習が話題になっていますが、ただ単に考え

はやし  
たかお  
林 高生

## 楽しみなゴール設定

を学ぶだけでなく、実際に手を動かす、試行錯誤を繰り返し、苦勞しながら作品を完成させることが本当の実力を身に付ける上でとても大切なことではないかと思えます。

また、他者が考え出した多くの技を見て、それを取り入れることで基本能力の向上にもつながると僕は考えています。これらはプログラミング学習に限らず、新たな能力を身に付ける上で共通して言えることだと思います。子供の頃の僕は「このソースコードを入力するとゲームで遊べる!」というゴールに向かって努力することができましたが、新たな能力を身に付けるためには「楽しみなゴール」を設定できるかが鍵になるのではないのでしょうか。

(エイチーム社長)